

平成23年度農商工連携ファンド助成金交付決定事業一覧

1 農商工連携事業(補助率:2/3、限度額:300万円/1事業、事業期間:3年以内)

区分	申請事業者 (連携体代表者)	所在地	連携体事業者	事業計画名	事業 期間	事業 概要
新商品・ 新サービス 開発等支援	株式会社 イタサカ	山形市	山形県漁業協同組合	庄内浜と食卓をつなぐ新流通サービスの開発(県産ブランド魚の新加工品開発事業)	1年	産直カー海丸とまわる鮭太助の連携による庄内浜と食卓をつなぐ新流通サービスの開始及び県産ブランド庄内おぼさわらの普及推進のための山形県の醸造発酵技術を活用した新商品開発。
	大郷担い手育成会 遠藤勇	山形市	だるまや菓子店	新紅花の郷づくり (地域で取り組む紅花イベント・新商品開発)	1年	耕作放棄地を活用した最上紅花栽培に取り組み、紅花のパウダー加工及び最上紅花乾麺など新商品を開発する。新たな紅花の郷づくりを目指すため地域交流事業大郷コミュニティーセンター等で紅花講習会を開催する。
	鈴木健具店 代表 鈴木正芳	上山市	有限会社蔵王ウッドイファーム	上山の安全・安心果物と果物由来工芸品をセット化したギフト商品の開発事業	2年	全国有数の果物産地である上山産の旬の果物(さくらんぼ、西洋なし等)と果物の剪定枝で製作した果物由来工芸品(食器・カトラリー)をセット化し、上山産杉の間伐材で製作した高級木箱に入れ、ギフト商品として商品化する。
	千代寿虎屋株式会社	寒河江市	さがえ西村山農業協同組合	JAさがえ西村山大江りんご部会のりんご・シードルの新商品開発	1年	大江町のりんごを利用して、りんごの発泡酒ワイン「シードル」を製造し、IT等を活用して新しい販売戦略を確立する。
	有限会社スリーズ・シー	東根市	浜田株式会社	佐藤錦を原料とした農商工連携による新商品開発・販売事業	2年	さくらんぼ農家での選別過程から出る、見た目等 外観上の理由で販売されていない山形産佐藤錦を原料に新規性のある、高付加価値商品(主に酒類)の開発を行う。これにより、地域振興に活用できる商品の確保と農業者のメリットもねらう。
	株式会社 明友	尾花沢市	合同会社 農事組合法人自然屋作兵衛	新商品・豆腐とブルーベリーのコラボレーションの「新たな燻製製品」の開発	1年	地産豆「天平秘伝豆」と「ブルーベリー」を組み合わせた新製品の開発。豆腐を燻製にするとチーズの様な食感になるが、ブルーベリーの果肉と蜂蜜等で味付けし、燻製と乾燥とともに包装の加工技術により、日持ちの良い新しい加工食品造りを目指す。
	森の家 佐藤春樹	真室川町	小野幸美、五十嵐博子、高橋好子	最上伝承野菜生産者と消費者をつなぐ架け橋プロジェクト	1年	弊社が生産販売している甚五右エ門芋をはじめ、魅力的な伝承野菜は各地に残っているがそれを後世に残すためには、認知・消費拡大が急務である。本プロジェクトは、最上地方に残る貴重な伝承野菜を生産者より受け取り、それを必要とする実需者・消費者に販売してゆくための情報発信ツールなどを充実させてゆくものである。
	農事組合法人りぞねっと	真室川町	お米のパン家	グルテンフリー米粉パン量産技術確立と高品質低コスト製粉技術確立	3年	米粉パンが徐々に消費者に支持されはじめている。しかし、大半の米粉パンは小麦由来の発泡で作られており、世界の穀物相場の影響を受けやすく製造原価が上がりやすい状況が将来にわたり推測される。また、米粉パンは高いというイメージもあり、米粉パン用米粉原料のコスト低減をあわせて克服していかないと、米粉パンの未来に不安感さえも感じてしまう。そこで小麦由来ではない方法でパンを発泡させて、小麦由来に見劣りしない新たなふっくら米粉パンカテゴリーを形成し、その量産技術を確立させる。現況の主流製粉法とは異なった製粉で低コスト化を図る。
	鶴沢メリヤス 代表 鶴沢勝	南陽市	有限会社酒井ワイナリー	ぶどう染めで南陽アピールプロジェクト	1年	南陽市は全国有数のぶどうの生産地であり、そのぶどうを染料として活用しセーターを製造、それを地域の特産品として販売する。又、より安価で求めやすい小物を製造する。
	株式会社 大江	南陽市	農事組合法人新田宮農組合	原材料からの一貫生産体制による地域活性化計画 大江じんだん豆を活用した新商品開発～お米と豆腐の朝食シューアイスの開発～	1年	本事業は、地元山形の食の素材に付加価値を加え商いに変える地産地商をコンセプトとし、当社のじんだんを活かして地域経済の発展への寄与、また山形の食の素材を全国に発信することを目的とし、農商工連携での地域活性化を推進しようとするものである。
	まるい食品 株式会社	鶴岡市	株式会社 ハグロファーム	山形県産蒟蒻芋活用による「安全安心山形ブランドコンニャク」の新商品開発	3年	地元農業者による「蒟蒻芋の産地化」を図り、地元産蒟蒻芋だけを使用したヘルシーで安全安心なこんにゃくを地域ブランドとして開発し、育て、地域農業への貢献と市場開拓を行う。
	株式会社ロック	鶴岡市	キラリボシ なばな生産組合グループ	三川町産菜の花「キラリボシ」を活用したレストランメニューの開発・PR事業	1年	三川町産菜の花「キラリボシ」を活用したレストランメニューやテイクアウト商品の開発・販売を通じてキラリボシブランドを県内外に広くPRするとともに、特産化に向けた商品価値の向上と販路拡大の一役を担う。

2 農商工連携支援事業(補助率:10/10、限度額:200万円、事業期間:1年以内)

申請事業者	所在地	事業期間	事業概要
米沢信用金庫	米沢市	1年	農商工業者の組織体である産学金連携横町「いい食感!やまがた」と連携し、商品開発プロセスにおける側面支援を行い、地域ブランドを形成していく。物質的な価値に、希少性・話題性等といった付加価値でコーティングすることにより、市場にこだわりを伝達することを目的とする。
出羽商工会	鶴岡市	1年	庄内産の木材食材を十分に活かした衣食住製品を社会に提供し、消費者の活用を促進するため、庄内型エコハウス研究所、料理研究会、クラフトデザイン研究会を新たに起こし、研修会の実施、新商品開発、ペーパー発行、SNSによる情報発信、消費者相談会、アワード等を開催する。